

刊夕日三十二月二



定価一冊五錢  
 廣告料五錢  
 印刷費別  
 電話六二〇〇  
 平町南町

# 常磐炭田の開発と

片寄平藏

山口彌一郎

平藏はたゞちに歸國今造に其の旨を告げ早速採炭を始めようとしたが彼等は笠間藩の者で笠間藩ではよく認められてゐるが

石炭のある白水彌勒澤は湯長谷藩内藤様の御用地であるので、これを如何したのかと鳩議した。然るに今造は隣村大野村字戸田より知人の清次郎が白水村に耕養子に行つてゐることを思ひ出しそれを手づるとして頼み込まうと話をした。平藏も大いによろこび一切を今造に託した。今造は早速白水におもむき清次郎に話をし清次郎又白水村の名主大越甚六に相談をした。大越氏も村の富、國の富であるならばと早速湯長谷藩主内藤様に願出た。藩主も亦國家將來の富源開拓なる事を覺悟され特に掘を許可された。これで種々の困難な事情も一切解決し今造に採炭一切の事をまかせ湯長谷藩侯には一俵につき銀一匁つゞを上納することとし小名濱に馬にて運び海上江

戸へ搬出第一回の移出を試み實に安政三年五月である常磐炭田は先づ斯の如くして先づ明るみに出たのである。

4、発見炭層の地質學的考察  
 常磐地方の含炭層は地質時代の第三紀に屬する層で大正二年現京都帝大教授中村新太郎氏が農商務省技師當時常磐炭田第一區磐城國

【朝】味噌汁—うぐいす菜  
 【晝】麥飯—とろろ  
 【晚】フラー—カキ貝  
 石城郡湯本村附近の地質を調査各地層に名稱を附し發表された。それに依れば先づ三區分して  
 上部第三紀層  
 中部第三紀層  
 下部第三紀層  
 とし下部第三紀層區分の詳細は次の如くである。  
 白坂百岩層 淺貝砂岩層  
 石城砂岩層 夾炭層  
 基底層  
 早大教授理工學博士徳士は十數年間常磐地方一帯を詳細に踏査され、早稻田大

學理工學部紀要として先に「常磐炭田に就きて」を後に「常磐炭田の地質」を發表され研究を完成された徳永博士に依り地質區分は次の如くである。  
 新期常磐炭田層(略稱新炭田層)  
 上層群—天妃山層 名資層 豊間層  
 中層群—釜戸層 コガチ層 亂澤層 中層  
 下層群—吉野各層 矢ノ倉層 平尾層  
 中期常磐炭田層(略稱中期炭田層)  
 龜澤層 水野谷層 五安層  
 古期常磐炭田層(略稱古期炭田層)  
 白坂層 淺貝層 石城層

一般に西部に阿武隈山地の古期岩石の地帯があり平均約十度の傾斜で下部中部、上部と東方に堆積してゐる。  
 白水附近は西部に石炭を含まない湯ノ嶽連峯の阿武隈山地古期岩石があり、石城層がその山麓を蔽うてゐる。高崎今造氏の最初に發表した露頭は徳永博士に依る石城層、中部教授に依る夾炭層に屬するもので粘土質の岩石よりなり其厚さは五十尺より百尺に至り平均

九十五尺、其の最上部に本層又は三番層と稱する磐城炭田の主要なる炭層をもつてゐるものである。柳の間を過ぎ、西に入れば白水川は峽谷に入る。彌勒澤現在是不動澤と稱する谷の兩側に見事な露頭が發表してゐたものと思ふ。現在は採掘終了して谷底には水すら流れない大風一過後の如き荒涼な谷底が當時を夢見てゐる如く、又炭坑堆積の跡を淋しく物語つてゐる様に見える。

耳鼻咽喉科専門  
**大和田醫院**  
 平町南町 電話一七〇番

看護婦急派  
 の求めに應じます  
 平町南町  
**平看護婦會**

咽耳鼻門  
 入院 應需  
 平町南町七〇番地  
**山内醫院**  
 醫學士 山内亨吉  
 電話六九一

喜多流謠曲と仕舞の  
 お稽古をお勧め致します  
 平町南町六九  
**白土會**  
 喜多流 謠曲 仕舞  
 電話二二七番

難波  
 内科一般  
 醫學博士 難波 睦  
 平町南町新川端  
 電話五〇二

日本一の三鱗豆炭  
 最も新しい燃料...三鱗豆炭の御試用を願ひます  
 火附のよい事木炭同様  
 (専用の器具不用)  
 燃料費は各種燃料の三分の一  
 ...炊事場・料理店に最適  
 三鱗豆炭海岸線一手販賣元  
 大谷石販賣店 住吉屋セメント店  
 酒井 伴 城  
 平驛前(電話六六一番)

**玉屋洋品店**  
 平町南町電話六五六番

今流行のレコード  
 東京音頭  
 昭和音頭  
 福島音頭  
 萬歳音頭  
 スキー行進曲  
 希望の首途  
 春のエレヂー  
 急げ幌馬車  
 ビクタール 特約店  
 コロンビヤ  
 平町五丁目  
**金光堂時計店**

喜多流謠曲と仕舞の  
 お稽古をお勧め致します  
 平町南町六九  
**白土會**  
 喜多流 謠曲 仕舞  
 電話二二七番

# 平町—勿來間の 國道面目一新

## 昨日土木課長激賞

### 『茨城縣以上』と折紙付く

#### 小林所長の苦心酬ひらる

平土木監督所では豫てより平、勿來間の國道路面が隣縣茨城の國道に比し手入不完全の爲め路面の凹凸甚だしく東京方面よりの自動車客等は『福島』の道路は茨城の道路と、到底比較になりぬ』と、評判の悪いのに鑑み昨年より小林監督所長が卒先道路工夫及び村當局

を督勵して路面の修理に盡力した結果最近では平、勿來間に植田、勿來間の國道は坦々として鏡の如き完全な路面となり昨廿二日の九面トンネル開通式に参列した土肥土木課長は國道視察して茨城縣以上の立派な國道になつたとの折紙を付け激賞した

時より皇太子殿下御降誕祝賀式を舉行したが警中、平商及び警女も同様舉式した

## 共販米價 幾分上向

### 既報石城販賣利用組合平農

業倉庫の共同販賣は昨廿二日午後一時より同所で行はれた平町の百九十二俵は建値八圓四十六錢、草野の六十七俵は八圓四十錢、神谷の七十五俵は八圓四十三錢で平町の關内信次郎、大谷要次郎の兩氏に落札したが前回に比較して平均十錢高である

## 警女入學 申込みの トツブを切る

### 既報警女では去る四日以来

新學年の生徒募集を開始してゐるが本日田村郡飯農村大字小戸神郡司碧さんが申込みのトツブを切つた

## 三救事業 帳簿検査

### 堀書記來郡

平土木監督所管内各町村八年度匡救事業の會計帳簿検査の爲め縣土木課より堀書記が去る廿五日來郡一週間の豫定で検査中である

## 盤崎補選 立候補二名

### 既報盤崎村の補欠村議一名

の改選は本廿三日午前七時より行はれるが立候補者は石川寅之助、鈴木茂中の兩氏である

## 警中卒業検査

### 警中は既報の如く本日より卒業

検査を開始した

## 尋四理科研究

### 平第三小學校では本日午前十時

から蛭田訓導指導の下に尋四男の理科「春分」に關しての研究教授をなした

## 常設館だより

### 日活現代劇

山 路みよ子 大島 屯主演『港の雨』ユニバーサル連続猛獸發聲『猛獸王國』日活時代劇全發聲 田村邦男 高瀬實乘 主演『彌次喜多第二篇』JOTOキー 市丸 月 美彌夫主演『戀の市丸』

## 川右太衛門主演『隊士斬り彌三』

### 平町人事

△東京市板橋區八丁目二九九山中静也氏(四〇)榎穂小路四沼田光子(三二) 回死 亡  
△四軒町二三猪狩政藏(三三)  
△杉平二〇谷地アキ(六六)  
△一丁目三松本龜吉(七〇)  
△四丁目四一當時宇都宮市 三條町三五丸山義文(二〇)

## 急告

元弊店員郡信次 儀昨年五月二十三日解雇仕候も當時債權の整理致せしを幸ひに取引先各位に對し無權限の文書を發し御迷惑を懸け居るやに聞及候就ては右様の事實有之候は、御手数數年左記へ來る三月五日迄に御申出下され度御願ひ申上候  
二月二十三日  
茨城縣下館町  
關彰商店本店  
平・四倉 支店  
土浦・關本 支店

## 教員の思想

### 郡下校長が協議

石城郡下各小學校校長會は來る三月二日午前十時より平第一小學校講堂に於て開き皇太子殿下御降誕記念事業及び教員の思想取締其の他種々なる事項に就いて協議する

## 教員配置

### 縣視學と打合

本縣水野縣視學は來る三月二日の郡下各小學校長會當日來平本年度師範學校卒業生の配置及び來學年の教員組織に就いて種々打合せを行ふ

## 郡下一の 戸數割訂正

### 玉川豫算總會

玉川村では來る廿五日午前十時より役場内に村會を開き九年度豫算を附議するが同村の昨年度戸數割平均賦課額は一戸當り廿二圓四錢といふ郡下一の高率なので九年度には一戸當り一圓づつを減額して廿一圓四錢にする模様である

## 御降誕祝賀式

昨報平各小學校では本日午前九

## 景氣の瑞祥か 參詣客が増加

### けふの金刀比羅賑賑

#### 平驛乗客五千突破

湯本町關船金刀比羅神社は本日(舊正月十日)例祭を執行したが附近町村は勿論遠く茨城縣からの參詣者頗る多く非常な賑賑を呈した、尙平驛では上り列車に二輛宛増結して參詣者の爲に便宜を計つたが午前中の乗客は一千六百七十七名で昨年の同祭當日の午前中の乗客八百六名に較べて約四割五分の増加で午後からの參詣者も亦多數らしく同驛では昨年の三十三百七十七人より三割増と見てゐるが午前中の成績よりみて或は五千人を突破するのではないかと言はれてゐる

## 無試験で 高商入學

### 平商の四家君

平商業學校本年度卒業生四名家君は在學中の成績優良の爲め昨日附を以つて福島高等商業學校無試験入學を許可された

## 一部断水

### 水道敷設で

平町水道部では目下北日胡摩澤地内一部に水道栓取付工事中なので本廿三日午後九時より明廿四日午前一時迄兩町内の水道を断水する

## 店員募集

本年尋卒 仕着 小使月二圓  
同高小卒 仕着 小使月一圓  
外交員十八九才より二十才迄

## 共榮漆器店

平町三丁目北裏通り  
進物贈答品  
恩賜賞與品  
記念表彰品  
各國産漆器

## 學校卒業賞品特賣

各學年卒業修業期が近づきました。各種賞品類も全部荷揃致しました御仕入の絶好期、卸賣特に御務め勉強致します

# 學校を護る

## 評子木の音

篠山、津田兩校長が感激

平第一、第二兩小學校は人家少なき揚土臺の高地にあるため火防組の巡回も容易に來らず宿直の職員は大風の

夜半など 責任上殆んど夜を徹して校舎の外外を見廻はるのであるが去る十九日夜の大風に午後十一時及び未明二時の二回に亘つて警て聴いたことのない拍子木の音がきこえ校舎の附

近を 巡回して 呉れた人があつたといふ宿直員からの報告に接した篠山、津田兩校長は早速調査した處右は

才穂小路夜警組の美譽であることが昨日の午後に至つて判明したので感激した兩校長は本日

朝會の際に全校児童に訓示して此の美譽に對し厚く敬意を表した

### 失明の身に

#### 前途は暗し

青春の望も消えて 足どり重く旅立つ 哀れ失意の盲青年

未だ春淺く風冷たく吹くけふ平町訓盲院に黒眼鏡をかけた二十四、五位の盲人が疲勞し切つた身をわずかに支へながら『是非梅崎先生にお目に掛りたい』と

面會を 請ふて來たので同氏が會つて話をきくと同人は上小川村の草野正雄(三)といひ今は盲ひの身であるが會つては警中在學して青春の日野望を抱きつゝ懐かしき父母の膝下に在つて

て身を立てんと決し六年の夏遂に單身故郷を出て上京同九月岩倉鐵道學校に入學したが勿論貧乏からの送金の有る筈もなく夜は激しき

労働をなして學費を得ながら何時かは廻り來む幸福に浸り得る日を夢みてゐた、一年半餘りかうした生活を續けてゐたが永き激務が祟つたものか昨年の三月さくら咲く四月も近いといふのに

左眼の 視力が衰へ始めた金に恵まれないので醫者にもかゝらぬ我慢してゐたが遂に四月末左眼は失明してしまつた、搦てゝ加へて同七月

最後と 頼む父が我が子の果敢なき身を嘆きつゝ歸らぬ旅に出でしまつた重なる不幸に我が身の悲運を哭く身に三たび襲ふた不幸一あゝ右眼も失明！せめて片眼なりと

家財を 賣り拂つて醫者にかゝつたが手遅れとなつて開眼の望み全く絶たれた今では生活にさへ事缺く様になつたので父の弟だといふ未だ相知らぬ仙臺に雜貨店を営む『險の叔父』を尋ねて行きたいが

汽車賃 もないといふ涙ながらの哀れな話に同氏も深く同情して若干の金を恵んで立去らせた

第三記念植樹 平第一三小學校では本日午前九時から皇太子殿下御生誕祝賀式の後同校裏玄關脇に大



今夜は南西の風 明日は西北の風 晴曇半す

### 今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- お話谷村討論加賀山興定
- 後六、二五 言葉の講座
- 「ヤ行とワ行」神保格
- 後七、三〇 講演「軍縮難の背景」伊藤正徳
- 後八、〇〇 絃樂四重奏
- 王松一本を記念植樹した

### 老樹名木を調査

平町の山林愛護普及に

既報四月二日より四日迄の三日間催される山林愛護普及期間中平町も愛護思想の普及を計る爲め町役場では郷土の誇りとし、保存する老樹名木を調査する事にな

### 酒代強要

断られ暴行

湯本町字傾城二〇生れ住所不定土屋義光(三)は去る廿一日午後六時頃仙臺市東八番丁片倉仙臺製糸所に於いて三圓の酒代を強要し事務員に断はられるや暴れ出し椅子等を破壊し仙臺署員に檢舉された由にて本日平署に身元照會があつた

### 轢死婦人

身許判る

既報昨廿一日午前六時頃湯本町字八小野田炭礦専用鐵道線路の轢死婦人の身元は其後平署で調査の結果湯本町字山ノ神三七甲子次郎長女日雇業和田ハルエ(九)と判明したが當日同人は小野田炭礦に炭拾ひに行かけ前記場所を通行中六時四十分湯本驛を發した石炭積列車に氣が付かず線路を横斷

### 磐崎校學藝會

磐崎第一尋高小學校では昨日學藝會を開催した

### 明日の部

- 前七、〇〇 基礎獨語講座
- (二十)橋本忠七
- 前九、一〇 料理献立「渡邊表の卵むし」松本良雄
- 後一〇、三〇 家庭講座「編物」六山陽梅子
- 後一〇、五〇 清元 青海波
- 浄るり清元ふち葉外四名
- 後二〇、〇〇 家庭講座「長唄のお稽古」五杵家彌七
- 後五、三〇 受驗講座「地理」齋藤茂
- 後九、三〇 時報 ニュー
- 後八、〇〇 子供の時間連
- 後八、二五 新内道中「膝栗毛浄るり」富松志津
- 太夫三味線富士松島太夫
- 後八、五〇 連續講談「小金原の仇討」終席一龍齋
- 貞山
- 後九、三〇 時報 ニュー
- ス 氣象通報 番組豫告
- 後六、〇〇 子供の時間連
- 後八、二〇 哥歌淡雪富士
- や浅間お月さん唄哥澤芝
- メ松三味線哥澤芝壽春
- 後八、四五 ビアノ管絃
- 樂ピアノレオシタロ管絃
- 樂大阪交響樂團指揮山田考作

### 圖畫研究教授

平第一小學校訓導鈴木嘉一氏は本日午前十時より三年二組に對し圖畫の研究教授を行つた

### 小川農會總會

小川村農會では来る廿八日午前十時より同村小學校内に總會を開き九年度豫算及び事業計劃に就いて協議すると

### 裁判所たより

△既報双葉郡熊町村大字夫澤字園子橋九〇農山口寅松(三)が去月四日午後四時頃同村棚和子地内山林に於て同村村上フミ子(三)さん假名を暴行した事件の公判は昨日午後一時より平支部に於て中島判事係り關口、中村(福島)兩判事陪席、三堀檢事立會、武田、門傳兩辯護士列席の下に開廷、事實訊問の上檢事より懲役三年を求刑され後兩辯護士の執行猶豫論あつて午後時半閉廷したが本日午前十時中島判事より懲役二年、三年間の執行猶豫を言渡された

### 木村科醫院

平町五丁目橋際 電話九〇三番

- △小使 二十五才 尋卒 給料面談
- △給仕 十七才 高卒 給料面談
- △料面談
- △小使 三十四才 尋卒 給料面談

### 平職業紹介所報告

- △求人を求める方
- △外交員 三十迄 高卒 給料面談
- △外交員 三十前後 高卒 給料面談
- △鮮魚雜夫 三十以下 尋卒 月十圓 外面談
- △雜役 三十迄 尋卒 年百圓
- △回職を求める方
- △事務員 十五才 商業卒 給料面談



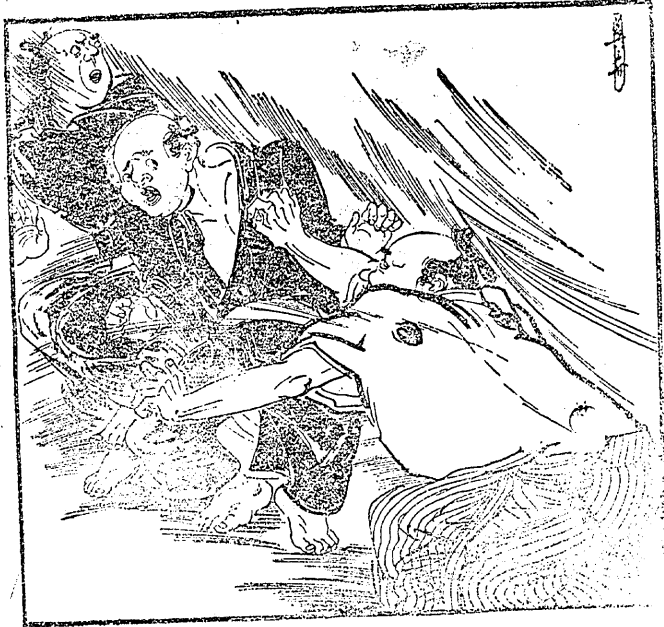
【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演  
山本英春 畫

第百六十四回 徳川家に崇る村正

水戸家の寶藏破り

水戸家お下屋敷のお藏番  
二宮五兵衛が小者二人を供  
に連れて今しも御寶藏前ま  
で廻つて来た時に、ふと向  
ふに人の氣配がした暗の夜  
でそれと判然見えたる譯でな  
いが、何んとなく物の動い  
た様な感じがした  
五「待てッ、平助」  
平「へエ、二宮の旦那何か  
御用で」  
五「其方共に氣が着かなか  
つたか誰か居るやうだ」  
平「さうでござんしたか、  
ちつとも氣が付きませんで  
したが……」  
暫く立留つて様子を窺つ  
てゐたが何事も無い  
五「拙者の氣の故かな」  
平「旦那おどかしてはいけ  
ません」  
二三間進むと土藏の扉が  
見える  
五「ヤッ一大事だ、寶藏の  
お扉前が開いてゐるぞ」  
平「エイッ」  
小者も驚いて提灯を突き  
出した途端にサツと閃いた  
一刃提灯をバツサリと斬り  
下とした  
平「出たッ」  
提灯を持つて平助といふ  
小者ドンと尻餅を突いた



その聲に驚いて後から来た  
男はドン／＼逃げ出して終  
つた、流石は二宮五兵衛太  
刀を抜いて油断なく四邊に  
氣を配る、その内にサツト  
正面から斬り込んだ者があ  
る、バツチリ受け流して斬

り込まふとする間もなく又  
一人斬り込んで来た者があ  
るからバツトとび退いた  
五兵衛の方は大分損がある  
敵が何人居るか分らないそ  
れに先方は暗の中に長く居  
て目が馴れてゐるから都合  
好いが自分の方は今迄提灯  
の火を見てゐたのだから俄

氣絶をしてゐるふりをした  
ら助かるかも知れないと一  
牛懸命息を殺して動かずに  
居る  
甲「翁燈を見せろ」  
丸い光が平助の顔を照ら  
したが驚きの餘り唇まで眞  
蒼になつてゐるから死んだ  
真似にはお説らへ向きだ

盲になつた様なものだ、太  
刀風と氣合とを頼りに打合  
つてゐると物をも言はず後  
からサツト斬り下した者が  
ある、轉すも流すもない右  
の肩先から乳の下へかけ斬  
り下げられ「アツ」といふと  
其處へ打倒れた  
甲「どうした供の奴は」  
乙「一人逃げた」  
甲「もう一人居たらう」  
乙「吃驚して氣を失つたら  
しい」  
平助といふ男提灯を斬り  
落された時に腰を抜かし氣  
絶までにはなかつたが逃げ  
さうだつて逃らばしない

甲「どうしやう、叩ツキ斬  
つて終まふか」  
平助の胸がドキツとした  
もう少しで飛起きて逃げ出  
さうとする處だつた、然し  
さうする間もたえず二人の  
男が（それにも及ばなから  
う無益な殺生をしても仕方  
がない）  
甲「それもさうだ」  
乙「丸い光は平助の顔から土  
藏の中へ向けられ  
甲「グズ／＼しては居られ  
ん、先刻逃げた奴が注進を  
して、今にも此處へ大勢押  
し掛けて来るに違ひないか  
ら」  
乙「さうだ、ヤイ早くしろ」  
それが土藏の中へ掛けら  
れたと見えて中からも人が  
出て来た、平助はもう大丈  
夫といふ安心が出たので目  
を細く閉けて様子を見てゐ  
るとたしかに五六人居る、  
それが土藏の中から何か擔  
ぎ出さうと言ふのだ、處が  
注進に依つてトお藏の若待  
達押ツ取刀で馳せつけて來  
る、提灯の火でもそれが餘  
程の人数といふ事が解る  
甲「いけねえ早くしなけり  
や、ソレ持てるだけ持つて  
逃げろ」  
五人は何やら手早く擔ぎ  
出して逃げたその後へ大勢  
の若待達が馳せ付けて來て  
〇「ソレ土藏の中を改める  
其邊の物蔭などを氣を付け  
ろ」  
と騒いでゐる、ムク／＼  
と騒いだ平助が  
起き出した平助が  
平「旦那方も其處には居  
ませんよ、彼奴等は逃げて  
しまいました」

新學年の御用意  
ランドセル (十三種)  
手提カバン (十三種)  
マルモト柴田書店  
電話 二五 三九 四七 番

市原醫院  
平町 田町  
電話 一四 番

〇「誰だ、貴様は誰だ」  
平「平助でございます」  
〇「ナニ平助だ、貴様生き  
てゐたのか角助の注進に依  
ると貴様は眞先に斬られた  
と言ふ事だが」  
平「有難いことに助かつた  
んで」  
〇「それは運の好い奴だ、  
曲者は何處へ逃げた」  
平「汐入りの水門の方へ行  
つてござんなさい」  
それッ、と言ふので皆が  
馳せて行つたが賊はもう逃  
げ去つた跡だつた、とにか  
く寶藏を調べると刀劍二三  
本と陣羽織一枚熊の衣裳葛  
藤など紛失してゐる金高か  
ら云へば高價とも言へやう  
が何れも一寸金に替えられ  
さうもない品物だ、賊もあ  
はてた結果品物の撰澤をし  
てゐる隙もなかつたと見え  
る、直ちに小石川の御本邸  
に注進に及び水戸家より町  
奉行へ賊の詮議を依頼する  
やうになりました

お惣菜用  
さつま揚  
吉原揚  
不味屋  
電話 一四 一番

かまぼこ  
製造  
平町一丁目

磐城セメント會社特約店  
久松屋商店  
磐城平町五丁目 電話九番九九番  
□良品廉賣に勝る商略なし  
□確實敏捷は生命なり  
大層お寒くなりました。  
皆様にはヒヤシヤシヤでお困りになりませんか、  
熱い火や湯でヤケドなされた時でも直ぐツケますれ  
ばヒブクレにならずに済みます  
キク印太乙膏があれば安心です、お試用見本無料  
で差上げますからドウゾ御遠慮なくいらして下さ  
い。殊にクサにはモットモ長く二、三回ツケればキ  
レイに治ります。  
キク印 ヤケド キリキズ  
クサ はだりアレ 専門店  
太乙膏 シビレ あかざれ  
シモヤケ たぐれ  
平町古鍛冶町一〇  
阿康藥舖  
電話 四四 番